

「ポーランド国際大会で得たこと」

同志社大学 原田夏鈴

この度は、日学連アゴラにおいて文章を掲載していただきますこと、誠に感謝いたします。今回出場させて頂いたポーランド国際大会で得たことが沢山あります。私自身海外で試合を行うのは初めてで、実際に訪れると私と同じように大学でプレイしている世界の選手が目の前で試合をしている事に不思議な感覚を覚えつつ、貴重な体験をしているのだと実感する事が出来ました。また、実際に試合をするとヨーロッパやアジアで卓球のプレイスタイルが違っていたりして試合を近くで見ただけで勉強になりました。海外で私に足りない技術を痛感する一方で海外でも通じる技術を知れた経験ともなりました。同じ日本チームとして参加した全国で活躍する選手との練習では、取り組む意識の高さや質の高さに驚きを覚えたとともに、学んだ事を今後の練習で活かしていければと思います。

今回のポーランドでの海外遠征の経験を通して今までに触れたことのない海外の文化や価値観、歴史などを肌で感じる事ができました。日本では決して体感のできない経験を、卓球というスポーツを通して経験することができました。このような貴重な経験をさせて頂いたこと心から感謝申し上げ、この経験を活かし今後の大会に繋がるようより精進して参ります。